

## 令和5年度 第4回

# まちづくりミーティング

小立野、崎浦、田上、俵 校下（地区）

日時 令和5年10月21日（土） 14時00分から

場所 金沢美術工芸大学 多目的ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしく願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 共通課題について
- 7 質疑応答、意見交換
- 8 市長まとめ
- 9 閉会

金沢市広報広聴課

TEL 220-2348 FAX 220-2030



## 提出課題一覧

### 1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	美大跡地の利活用 (小立野町会連合会)	P2 P3
2	災害時の避難場所に新金沢美術工芸大学の指定を (崎浦地区町会連合会)	P4 P5
3	第5週目の資源収集(容器包装プラスチックのみ)に ついて (田上校下町会連合会)	P6 P7
4	町会の活性化に向けた区域の見直し (俵地区町会連合会)	P8 P9

### 2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	高齢化社会における地域の活性化をどのようにするか ・・・元気で生き生きと過ごせる地域づくり・・・	P10 P11

地域課題 1

町会連合会名	小立野町会連合会
地域課題	美大跡地の利活用
現状と課題	<p>10月に美大が小立野2丁目の新キャンパスに移り、斜面を含めると5ha以上の跡地が残ります。</p> <p>9月11日の市議会で跡地に関し、金大が取得の意向を示している事。又、建物解体と急傾斜対策に向けた実施設計を始めたとの発言がありました。</p> <p>市は金大の整備計画がまとまった段階で地元への説明の場を設ける。地元の意見を聞きながら売却に向けた手続きを進めるとの発言がありました。</p> <p>地元として金大への売却は、隣接する金大医薬保健研究域（鶴間キャンパス）拡充の観点から異論はありません。</p> <p>但し、以下の施設が整備される事を要望します。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>当校下では令和3年より、【金沢美大跡地利用期成同盟】を結成し、山野金沢市長（当時）に利活用に関する要望書を提出。現在小立野校下には親子やシニアが利用できる“遊び場・憩いの広場”がありません。近辺には子ども園や小中学校があり又高齢者の施設もあります。</p> <p>希望するところは、美大跡地で子供広場・運動場・シニア広場といったエリアに分けて利用できる場所を設けて欲しい。その場合跡地の一部を市が保有し、広く市民が利用出来る施設が整備される事を望みます。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	美大跡地の利活用
協議事項	<p>美大跡地で子供広場・運動・シニア広場といったエリアに分けて利用できる場所を設けて欲しい。その場合跡地の一部を市が保有し、広く市民が利用出来る施設が整備される事を望みます。</p>
市の方針等	<p>金沢大学による美大跡地の活用策では、隣接する鶴間キャンパスを拡充し、ヘルスケアなどの産学連携研究施設や、地域の健康増進に関する施設のほか、研究者らの宿舎などを整備する提案となっています。</p> <p>市では、この金沢大学の提案は、地域だけでなく、市全体にとっても大きな役割を果たすとともに、文教地区にふさわしく、学都・金沢の強みに厚みを増すものと考えており、金沢大学への美大跡地の一括した売却に向けて、必要な手続きを進めていくこととしています。</p> <p>現在、金沢大学からは、美大跡地全体を活用した具体的な整備計画を検討しているとお聞しており、市では、それに併せて、広場空間の設置など地元の要望や思いを金沢大学にお伝えし、検討を進めて頂いています。</p> <p>今後、金沢大学の整備計画が、ある程度まとまった段階で、地元の皆様への説明の場を設けるなど、引き続き、地元の皆様のご意見をお聞きしながら、金沢大学との協議を重ねてまいりますので、今後ともご協力をお願いします。</p>
担当課	<p>都市政策局 企画調整課                      電話 220-2031</p>

## 地域課題 2

町会連合会名	崎浦地区町会連合会
地域課題	災害時の避難場所に新金沢美術工芸大学の指定を
現状と課題	<p>平成26年の金沢市の防災訓練に参画して以来毎年実施しているが、これまでの訓練と違ってその内容も多岐にわたってきています。特に、災害時には安全確保を最優先とし近くの避難場所への移動を呼びかけています。</p> <p>当地区ではこのようなことから、本年度から従来の「避難誘導初動訓練」に合わせ防災士会主導の「避難所開設訓練」を実施することとしました。(9月10日(日)第2ブロック南小立野小学校)</p> <p>当地区には、二次避難場所として「崎浦公民館」9町会958世帯、「南小立野小学校」13町会2,682世帯、「城東体育館」(H27・10指定)7町会890世帯の計4,530世帯を3ブロックに分けた避難体制になっているが、その中で崎浦公民館を避難所とすることに非常に困難があります。駐車場や避難者スペースが狭隘でさらに県道湯涌福光線に面していることから大混雑が予想される。</p> <p>また、拠点避難場所の南小立野小学校についても、起伏の多い地域の特性や住民15,000人の30%が65歳以上の高齢地域でもあり小立野小学校通学区域町会や館町方面から遠く移動が至難である。</p> <p>住民から実態に合わせた計画にすべきとの強い意見がある。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>崎浦公民館に隣接する「新金沢美術工芸大学」を代替えとして、また、災害時に拠点避難場所である南小立野小学校から遠く離れた地域の「準」拠点避難場所に指定されるよう要望する。</p>

## 市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	災害時の避難場所に新金沢美術工芸大学の指定を
協議事項	新金沢美術工芸大学を崎浦公民館の代替の指定避難所として、また、南小立野小学校から離れた地域の「準」拠点避難所として指定するよう要望する。
市の方針等	<p>本市では、災害が発生又は発生のおそれがある場合において、まずは拠点避難所を開設し、必要に応じて指定避難所を開設することとしています。</p> <p>金沢美術工芸大学については、移転先においても引き続き指定避難所とする予定としています。施設管理者との調整が済み次第、関係する校下・地区の皆様には、改めてお知らせします。</p> <p>また、指定避難所の運用については、施設管理者の協力も得ながら、柔軟に対応してまいります。</p> <p>なお、避難所はお住まいの校下・地区に限定されるものではありません。安全な避難経路が確保できる避難所を活用していただきますようお願いします。</p>
担当課	危機管理監 危機管理課                      電話 220-2366

地域課題 3

町会連合会名	田上校下町会連合会
地域課題	第5週目の資源収集(容器包装プラスチックのみ)について
現状と課題	<p>第5週目の資源収集日は容器包装プラスチックのみの回収となっているが、ペットボトルや空き缶を間違えて出す方があとを立たない。また、昨今、ペットボトルや空き缶や容器包装プラスチックの量が増加傾向にあり、家庭での保管量が多くなりつつ出してしまう様である。</p> <p>コロナの制限が解除され、観光客もコロナ前に戻りつつあることに加え、来年春の北陸新幹線敦賀延伸も踏まえると、人と車の集中は更に加速し、危険性が增大することが懸念されます。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	第5週目の収集対象品目も月2回の収集日と同様の品目に合わせて欲しい。



市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	第5週目の資源収集(容器包装プラスチックのみ)について
協議事項	<p>第5週目の資源収集日は容器包装プラスチックのみの回収にもかかわらず、家庭での保管量が多くなっているペットボトルや空き缶がステーションに出されるため、第5週目の収集対象品目を容器包装プラに限定せず、月2回の資源回収と同様にしてほしい。</p>
市の方針等	<p>容器包装プラスチックの第5週目収集の実施にあたり、各町会や婦人会など住民の方々のご意見を広くお伺いしましたが、その中で、増加する容器包装プラスチックの分別と資源化を更に促進することや、ごみステーションの管理に係る住民の負担軽減等の意見が多くあり、これらを十分考慮し、容器包装プラスチックのみの収集とさせていただいたものであり、ご理解いただきたいと思えます。</p> <p>違反ごみ等については、ごみ出しルールの変更の周知と一層の徹底を図ることが必要と考えており、そのために現在、大学生に対しては職員が大学へ直接出向き、ごみ出しルールについての説明会を開催していますほか、市内の全世帯に対し、ごみ出しの詳細について記載した「パンフレット」を毎年配布しています。</p> <p>また、違反ごみの多い箇所には、地域の実情をお聞きしながら、巡回・指導を行っています。引き続き、ごみ出しのルールが守られるよう、地域の方々のご意見をお聞きしながら、一層の改善に努めていきます。</p>
担当課	<p>環境局 ごみ減量推進課                      電話 220-2302</p>

地域課題 4

町会連合会名	俵地区町会連合会
地域課題	町会の活性化に向けた区域の見直し
現状と課題	<p>俵地区では、人口減少によって様々な問題が生じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の役員や防災、消防等の委員のなり手が不足している。</li> <li>・担い手がなく放置された農地が増えている。</li> <li>・地域の中での交流も少なくなり、イベントなども人が集まらない。</li> </ul> <p>市街化調整区域のため新しい住宅も建てることができず、俵地区だけではこうした課題の解決ができない状態になっている。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>今後も人口が大きく増えることは考えにくい状況であり、町会連合会の区割り自体を見直すことも考えていきたいが、個別の町会連合会だけで簡単に決められる問題ではない。</p> <p>区割りは数十年前から変わっていないと思うが、市内には人口が増えた地区、減った地区は他にもあり、それぞれの課題が生じていると思うので、町会側だけでなく、市としても一緒に方向性を考えてほしい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 4）

地域課題	町会の活性化に向けた区域の見直し
協議事項	<p>今後も人口が大きく増えることは考えにくい状況であり、町会連合会の区割り自体を見直すことも考えていきたいが、個別の町会連合会だけで簡単に決められる問題ではない。</p> <p>区割りは数十年前から変わっていないと思うが、市内には人口が増えた地区、減った地区は他にもあり、それぞれの課題が生じていると思うので、町会側だけでなく、市としても一緒に方向性を考えてほしい。</p>
市の方針等	<p>1. 本市における校下・地区町会連合会の区域は、概ね旧の小学校の校区を基礎として、それぞれが持つ歴史や経緯を踏まえ、各町会連合会が定めたものと認識しています。</p> <p>2. 市としては、区域の見直しについては、関係する町会連合会の同意のほか、地域の特性にも十分配慮した慎重な検討が必要であると考えています。</p> <p>3. 町会や町会連合会は市政の運営にも多くのご協力をいただいております、市にとって大切なパートナーでもありますことから、ご相談があれば、金沢市町会連合会とも連携を図りながら具体的な手続き等について協力してまいります。</p> <p><b>【参考】</b> R5.4月 観音町の3町会がコミュニティの発展のために、地域で合意形成し合併</p>
担当課	市民局 市民協働推進課 電話 220-2026

## 共通課題

<p>共通課題</p>	<p style="text-align: center;">高齢化社会における地域の活性化をどのようにするか</p> <p style="text-align: center;">・・・元気で生き生きと過ごせる地域づくり・・・</p>
<p>現状と課題</p>	<p>【現状】・見守りボランティアのなり手がいない、健康教室への参加が少ない、散歩している方が少ない、自分の趣味に没頭する等自宅でこもり出不精な方が多い。(高齢化、高齢化と唱えるだけで行動をせずに齢を取っていく)若い人々は子育て、仕事で忙しく地域活動に関わる暇がないと言って、地域活動へ意識を向けない方々が多いようである。若者の参加が少なく、地域の祭りやイベントが盛り上がらない。若い人と高齢者との交流の場が少なくなっている。一方、一人暮らしの高齢者も徐々に増加の傾向があり、高齢者相互の孤立が顕在化してきている。また、地域によっては空き家の増加が顕著である。</p> <p>【課題】高齢化と言いながら、高齢を跳ね返す元気な高齢者も多い。なぜか、高齢者が地域活動に積極的に参加しない(金沢の風土があるようで)。元気な高齢者が“何とかせにゃいかん”、地域活動を活性化するんだと思える土壌づくりを若い人と一緒にやっていくこと。高齢者が孤立化しないように若い人が高齢者を見守り、一方、高齢者が子育ての助けに少しでも子供を見守りする等、お互い様に助け合える土壌づくりを推進すること</p>
<p>地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項</p>	<p>【解決策】 老若男女の交流の場を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人恋しくなる・気楽になれる・遠慮がいらない・手軽にいける・出向きたくなる・井戸端話しができる・・・そんな場所を設定する(公的なサロン)</li> <li>・毎朝太極拳ができる・行けば誰かいる・行きたくなる・体を動かしたくなる・・・そんな空間を設定する(全天候型の空間)</li> </ul> <p>【協議したい事項】</p> <p>交流の場の設定について、気軽に集える空間の設定と運営管理及びアクセスを自由にするための循環バス等の移動手段の用意等、市と連携して整備する。</p>

## 市の方針等説明書（共通課題）

地域課題	<p>高齢化社会における地域の活性化をどのようにするか          ・ ・ ・元気で生き生きと過ごせる地域づくり ・ ・ ・</p>
協議事項	<p>人恋しくなる・気楽になれる・遠慮がいらぬい・手軽にいける・          出向きたくなる・井戸端話ができる場所を設定する（公的なサロン）          毎朝太極拳ができる・行けば誰かいる・行きたくなる・体を動かしたくなる空間を設定する（全天候型の空間）          交流の場の設定について、気軽に集える空間の設定と運営管理及びアクセスを自由にするための循環バス等の移動手段の用意等、市と連携して整備する。</p>
市の方針等	<p>高齢者の仲間づくりや生きがいづくりのため、地区社会福祉協議会が主体となり、公民館など身近な施設を使用して健康教室や会食会など様々な活動を行う「地域サロン」を市内62地区で開催するとともに、各地区では生きがいと健康づくりのための「老人クラブ活動」も積極的に行われており、本市としても活動支援を行っています。</p> <p>地域の皆様におかれましては、これらを積極的にご活用いただきますようお願いいたします。</p>
担当課	<p>福祉健康局 福祉政策課                      電話 220-2288</p>